順天アートコンプレックス国際設計コンペ

工学部・建築学科・教授・安井　秀夫
yasuihideo@aitech.ac.jp

キーワード　美術館　観光センター　持続可能な社会　自然エネルギー

概要

将来のための持続可能な社会と調和したこの建築は、自然エネルギーによって快適な環境を提供するために、自然の要素（空気、光、緑、河川水など）を使用します。この計画は、順天市の将来のための開発プロジェクトと一致しています。
建物の計画は、人との関係の性質を再構築することです。人間と自然を統合することで、時間軸に埋もれ継続する建物を計画します。未来への架け橋としてプログラムを保有し、韓国、全羅南道の豊かな自然と韓国の伝統を継承する計画です。
芝生の屋根に覆われている建築空間は大スパン構造によって支えられ、アートセンター、観光センターは、韓国の伝統文化でサポートされ、汎用性の高いアプリケーションを研究する柔軟で将来の複雑なプログラムを解決するための研究施設と組み合わされます。

セールスポイント

１．街の中心に建てられる建築には、どこからでもアプローチでき、アクセスフリー。
２．CO_2削除５０％実現のために自然エネルギーを最大限に取り入れた設備計画
３．展示のために大空間を実現する鉄骨格子の構造体を取り入れている。・・・・・・・・。

用途および展望

１．市民の交流のための施設。イベント広場。
２．定期的な催しのための展示施設。イベント等に使用する会場。・・・・・・・。
３．順天を訪れる韓国内、海外からの観光客への案内所・
４．美術、歴史の研究施設。・・・・・・。

参考資料

築設計資料集成　日本建築学科編集